



No.13

将来の船員として活躍を期待!

～中高生を対象に就業体験・体験学習を実施～



就業体験 (船内設備の説明)



就業体験 (荷役作業)

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興等に欠かせないものとなつてゐる中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたつては、海上輸送を担う船員の安定した確保・育成が必要不可欠です。特に内航海運においては、年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割程度と高い状況になつております。数年後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくためには、若年内航船員の確保が喫緊の課題になつています。

沖縄県においても全国と同様の傾向があるため、沖縄海事産業人

材確保・育成推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つきっかけを作り、将来、内航船員への就職を選択してもらうため、各種取組を行つています。

高校生に対する取組としては、7月から11月にかけて沖縄水産高校、宮古総合実業高校の生徒を対象に県内の船社の協力を得て、内航船（貨物船、旅客フェリーなど）で就業体験（インターナンシップ）を実施しました。参加した生徒からは「普段経験できないことを体験できた」「内航海運の仕事に魅力を感じた」などの感想がありました。

中学生に対する取組としては、7月25日に沖縄水産高校で、12月26日には宮古総合実業高校にて、各学校の協力を得て、中学生のか、保護者や教員も対象に、船員の仕事や資格についての説明や操



体験学習 (シミュレーター体験)



就業体験 (船内ミーティング)

船シミュレーター体験、実習船の見学などの体験学習を実施しました。参加した生徒からは「船員という仕事に興味を持った」「船員になるために水産高校への進学を考えたい」という声がありました。運輸部では今後とも、若年内航船員の人材確保・育成に向けた取組を積極的に推進していきます。



体験学習 (実習船見学)



体験学習 (在校生・OBとの意見交換)